

西原中学校子ども議会 志学塾



西原村では、小学校3年生の「萌の子塾」から始めた「ふるさと塾」の集大成として、中学校3年生で西原中学校子ども議会「志学塾」を行っています。

今年度は、中学1年から3年まで全員が参加し、委員会による縦割り班で検討した内容を、11月21日（金）に3年生が西原村議場において質問や提案を行いました。

生徒からは、村の未来を真剣に考える、大変前向きで具体的な質問・意見・提案が多数出されました。これらは、西原村の更なる発展のために貴重な意見としていきたいと考えています。

答弁

質問

「防災と熊本地震の継承について」

質問者 安全委員会 川内 唯 議員

ようとする意欲」と「具体的な計画を達成できる見込み」であり、個別相談や計画作成支援を通して、やる気のある農業者を増やしていきたい。

熊本地震から10年近くがたち、私たちは当時の記憶がほとんど残っていない。今回、地震に関する学習を行うなかで考えたことを2点、質問・提案したい。

①多様な背景を持つ住民（国籍、アレルギー等）が増加している現状を踏まえ、災害発生時の備蓄食料について、西原村での対応と配慮がなされているか具体的に知りたい。

②地震の経験や、どのように困難を乗り越えたかを学習するための村独自の施設が必要であると考え、防災食や熊本地震について学ぶことができる複合施設の建設を提案する。

①西原村では、増加する外国人やアレルギーを持つ人々に対応するため、ヴィーガン対応スープやアレルゲンフリー食品など、様々な人を想定し備蓄を行っている。なお、熊本地震の際の村民の「自助」「共助」の動きにも触れ、災害への備えは「自助」が基本であり、各家庭でも災害に備えた非常食の準備を行うよう呼びかけを行っていく。

答弁

質問

「乗り合いタクシーの運営内容について」

質問者 生活委員会 野口 心優 議員

最寄り駅（大津駅）への移動手段であるバスの運行本数が少なく、通勤・通学で利用するには現実的でない。これは、中学生にとって志望する高校への進学という選択肢を狭める可能性があると考えている。

現在運行されている「益城・空港フイナ」の乗り合いタクシーを、利便性が低い大津駅と西原村間でも運行することを提案する。

質問

「通学と学習環境の改善について」

質問者 学習委員会 梅田 ひかり 議員

②学生のみさんが、熊本地震に关心を持ち、記憶や教訓を後世に伝えるための学習を行ったことに感謝する。村でも応急仮設住宅「みんなの家B棟」を利用した多目的震災ミニュージアムの整備に対する人々に防災教育や熊本地震の記憶を継承していく施設として活用する予定である。

質問

「「ごみ出し早見サイト（外国語対応）の立ち上げについて」

質問者 美化委員会 坂本 幸月 議員

②タブレット端末の老朽化については認識しており、令和8年度当初より順次入れ替えを行う予定である。公平性担保のため公費更新を基本方針としているが、個人購入案は各自の端末に対して諒解を深めている。村では「地域公共交通会議」で課題を把握し、高校生への定期券代補助や「空港フライナー」運行を開始した。今後、運動公園の結節点化や利便性向上に積極的に取り組んでいかたい。

①高校生を中心とした通学手段の確保は進路選択の重要な要件である。公平性担保のため公費更新を基本方針としているが、個人購入案は各自の端末に対して諒解を深めている。村では「地域公共交通会議」で課題を把握し、高校生への定期券代補助や「空港フライナー」運行を開始した。今後、運動公園の結節点化や利便性向上に積極的に取り組んでいかたい。

答弁

質問

「持続可能な西原中学校にしていくために」

質問者 体育委員会 高橋 柚奏 議員

①生徒が健康的に学校生活を送るには、体育の授業や部活動を行う環境を整えることが不可欠であるため、体育馆へのエアコン設置を要望する。

②生徒が安心して水泳の授業を受けることができるよう、中学校のプール周囲に、外部から見えないようなフェンスなどの防犯設備の設置を要望する。

生徒の進路選択に関わる重要な村の課題として認識している。現在の路線バスは赤字が赤字が困難なため、西原村では自ら運行するAIオンドマンドバス「益城・空港フライナー」の実証運行を開始した。中学生を含む村民の利用を奨励している。

また、空港ライナーや将来的には、空港アクセス鉄道も整備される見込みであり、空港での乗り継ぎなども活用してほしい。

①体育館は避難所も兼ねており、夏場の熱中症対策は重要な課題と認識している。しかし、設置には3校合計で約4億5000万円の高額な費用がかかることが課題であり、村の財政状況や国の補助制度を精査し、他事業との優先順位も考慮しながら、村全体で慎重に検討をしていきたい。

②プール周辺の安全・防犯対策として、外部からの視線を遮る目隠し（フェンス等）の必要性は認識している。村内外の安心・安全を最優先し、メッシュシートの活用など多様な手法を比較検討していきたい。

答弁

質問

「農業支援（農機具貸し出し、認定農業）について」

質問者 代議委員会 米田 朝哉 議員

①SNS等の調査から、他の県や市町村では農機具のレンタルが行われている実績があるが、西原村ではない。そこで、農機具をレンタルできる機関を西原村内に設置することを提案する。

②西原村の認定農業者になるための条件緩和を提案する。

①スマート農業による省力化、生産性向上が注目されていることは村でも認識している。

農業用ドローンの利用について、村内の若手農家が立ち上げた推進協議会を通じて、村からも支援を行っている。アシストツールは現状では農作業に適さないため見送ったが、今後の技術革新の動向を注視し、省力化と技術革新の普及に努めていく。

②認定農業者の認定基準は、国の法律と県の「基本方針」に沿って村が定めしており、村独自で緩和することはできない。重要なのは現在の経営規模ではなく、「5年後に向けて目標を達成し

答弁

現在、全世帯へ「ごみ収集カレンダー」を配布しているが、村ホームページにも同様の内容（カレンダーや早見表）を掲載し、検索確認ができるようとしている。ホームページには言語変換機能があり、外国籍の方でも探しやすい内容となっているが、今後さらに使いやすく改善していく予定である。また、村の公式LINEには、収集日の前日に通知が届く機能やごみの分類検索機能も提供しており利用していただきたい。

「半導体関連企業との連携による村の活性化について」

質問者 生徒会 桂心美 議員

熊本県（菊池郡）への半導体関連企業の進出に伴い、企業が進出した周辺自治体の活性化がよく報道される。本村も半導体関連企業との連携を進めることで、村の活性化に繋がるのではないかと考え、3点を提案する。

①空港周辺の宿泊施設が少ないため、空港利用者を主な対象とした宿泊施設を誘致すれば、村の活性化に繋がるのではないか。

②半導体関連企業と連携したイベントを開催し、正しい理解や地域住民との交流の場としてははどうか。

③年齢性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が使いやすいUOの考え方は村づくりにおいて大変重要であると認識している。これまで多目的トイレや点字フロックの設置、運動公園にインクルーシブ遊具の設置などを進めてきた。引き続き、外国人も含め誰もが過ごしやすい村づくりを進めていく。

答弁

①西原村は半導体関連企業進出の恩恵を受けしており、提案された宿泊施設については、現在村内事業者が建設を計画している。村も支援しており、ビジネス・観光による交流人口の増加や、鳥子未来工業団地の整備と合わせて、村の活性化に繋げていきたい。

②地域と企業との良好な関係構築はたいへん重要なことであり、村では企業連絡協議会を再開して、交流機会を検討している。本年9月には村内企業がイベントを、12月には地域おこし協力隊が「半導体魅力体験イベント」を行うなど、住民の理解促進と地域交流を進めている。

「新しい図書館と西原村の歴史が分かる複合施設の設置について」

質問者 図書委員会 斎藤玲那 議員

「本」という媒体を通して村民が集う場所となるよう「図書館」に西原村の歴史を学べる「歴史資料館」、子どもたちが集まれる「児童館」、カフェや商業施設などを併設した複合施設を設立してはどうか。

答弁

読書を通じた学びの機会提供の重要性は認識しているが、図書館である「山河の館」には1万7000冊を超える蔵書があり、またタブレット端末で読書が可能な電子図書館も提供しているため、現行施設で読書機会は十分に提供できていると判断している。今回提案があった「歴史を学ぶ場」については別施設を建設予定であり、地域交流の場としては多目的震災ミュージアムを建設中である。財政面や公民連携の課題から新たな複合図書館建設は困難だが、既存施設を活用した学びの場の創出には取り組んでいきたい

「公共交通と防災の継承について」

質問者 放送委員会 坂本陽 議員

①現在、多くの中・高生が大津駅までの移動に自転車や家族の送迎を利用しており、特に車を持ついない学生、高齢者、住民にとっては交通手段が不便である。そこで、西原村から大津駅までのバスの運行本数を増やすことを提案する。

②職場体験先でのアナウンス講座を通じて、伝えることの大切さを学んだ。また、熊本地震を経験した当事者として、支援への感謝や命の尊さ、支え合いの大切さを忘れてはならないとを考えている。災害の経験者として発信など協力体制を築きたいと考えており、この前向きな提案の実現に向けて、今後検討を進めていく。

③虫歯予防は重要であり、村では希望者を対象としたフッ化物洗口を行っている。現在未就学児の虫歯は減少傾向となっている。今回提案された、高齢者を対象とした8020表彰やゲストティーチャーによる講演は、子どもたちの健康意識を高める良い取り組みだと考え、今後、実現に向けて検討を行っていく。

答弁

現在、全世帯へ「ごみ収集カレンダー」を配布しているが、村ホームページにも同様の内容（カレンダーや早見表）を掲載し、検索確認ができるようとしている。ホームページには言語変換機能があり、外国籍の方でも探しやすい内容となっているが、今後さらに使いやすく改善していく予定である。また、村の公式LINEには、収集日の前日に通知が届く機能やごみの分類検索機能も提供しており利用していただきたい。

「半導体関連企業との連携による村の活性化について」

質問者 生徒会 桂心美 議員

熊本県（菊池郡）への半導体関連企業の進出に伴い、企業が進出した周辺自治体の活性化がよく報道される。本村も半導体関連企業との連携を進めることで、村の活性化に繋がるのではないかと考え、3点を提案する。

①空港周辺の宿泊施設が少ないため、空港利用者を主な対象とした宿泊施設を誘致すれば、村の活性化に繋がるのではないか。

②半導体関連企業と連携したイベントを開催し、正しい理解や地域住民との交流の場としてははどうか。

③年齢性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が使いやすいUOの考え方は村づくりにおいて大変重要であると認識している。これまで多目的トイレや点字フロックの設置、運動公園にインクルーシブ遊具の設置などを進めてきた。引き続き、外国人も含め誰もが過ごしやすい村づくりを進めていく。

答弁

①西原村は半導体関連企業進出の恩恵を受けしており、提案された宿泊施設については、現在村内事業者が建設を計画している。村も支援しており、ビジネス・観光による交流人口の増加や、鳥子未来工業団地の整備と合わせて、村の活性化に繋げていきたい。

②地域と企業との良好な関係構築はたいへん重要なことであり、村では企業連絡協議会を再開して、交流機会を検討している。本年9月には村内企業がイベントを、12月には地域おこし協力隊が「半導体魅力体験イベント」を行うなど、住民の理解促進と地域交流を進めている。

「新しい図書館と西原村の歴史が分かる複合施設の設置について」

質問者 図書委員会 斎藤玲那 議員

「本」という媒体を通して村民が集う場所となるよう「図書館」に西原村の歴史を学べる「歴史資料館」、子どもたちが集まれる「児童館」、カフェや商業施設などを併設した複合施設を設立してはどうか。

答弁

現在、全世帯へ「ごみ収集カレンダー」を配布しているが、村ホームページにも同様の内容（カレンダーや早見表）を掲載し、検索確認ができるようとしている。ホームページには言語変換機能があり、外国籍の方でも探しやすい内容となっているが、今後さらに使いやすく改善していく予定である。また、村の公式LINEには、収集日の前日に通知が届く機能やごみの分類検索機能も提供しており利用していただきたい。

「半導体関連企業との連携による村の活性化について」

質問者 生徒会 桂心美 議員

熊本県（菊池郡）への半導体関連企業の進出に伴い、企業が進出した周辺自治体の活性化がよく報道される。本村も半導体関連企業との連携を進めることで、村の活性化に繋がるのではないかと考え、3点を提案する。

①空港周辺の宿泊施設が少ないため、空港利用者を主な対象とした宿泊施設を誘致すれば、村の活性化に繋がるのではないか。

②半導体関連企業と連携したイベントを開催し、正しい理解や地域住民との交流の場としてははどうか。

③年齢性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が使いやすいUOの考え方は村づくりにおいて大変重要であると認識している。これまで多目的トイレや点字フロックの設置、運動公園にインクルーシブ遊具の設置などを進めてきた。引き続き、外国人も含め誰もが過ごしやすい村づくりを進めていく。

答弁

①西原村は半導体関連企業進出の恩恵を受けしており、提案された宿泊施設については、現在村内事業者が建設を計画している。村も支援しており、ビジネス・観光による交流人口の増加や、鳥子未来工業団地の整備と合わせて、村の活性化に繋げていきたい。

②地域と企業との良好な関係構築はたいへん重要なことであり、村では企業連絡協議会を再開して、交流機会を検討している。本年9月には村内企業がイベントを、12月には地域おこし協力隊が「半導体魅力体験イベント」を行うなど、住民の理解促進と地域交流を進めている。

「新しい図書館と西原村の歴史が分かる複合施設の設置について」

質問者 図書委員会 斎藤玲那 議員

「本」という媒体を通して村民が集う場所となるよう「図書館」に西原村の歴史を学べる「歴史資料館」、子どもたちが集まれる「児童館」、カフェや商業施設などを併設した複合施設を設立してはどうか。

答弁

現在、全世帯へ「ごみ収集カレンダー」を配布しているが、村ホームページにも同様の内容（カレンダーや早見表）を掲載し、検索確認ができるようとしている。ホームページには言語変換機能があり、外国籍の方でも探しやすい内容となっているが、今後さらに使いやすく改善していく予定である。また、村の公式LINEには、収集日の前日に通知が届く機能やごみの分類検索機能も提供しており利用していただきたい。

「半導体関連企業との連携による村の活性化について」

質問者 生徒会 桂心美 議員

熊本県（菊池郡）への半導体関連企業の進出に伴い、企業が進出した周辺自治体の活性化がよく報道される。本村も半導体関連企業との連携を進めることで、村の活性化に繋がるのではないかと考え、3点を提案する。

①空港周辺の宿泊施設が少ないため、空港利用者を主な対象とした宿泊施設を誘致すれば、村の活性化に繋がるのではないか。

②半導体関連企業と連携したイベントを開催し、正しい理解や地域住民との交流の場としてははどうか。

③年齢性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が使いやすいUOの考え方は村づくりにおいて大変重要であると認識している。これまで多目的トイレや点字フロックの設置、運動公園にインクルーシブ遊具の設置などを進めてきた。引き続き、外国人も含め誰もが過ごしやすい村づくりを進めていく。

答弁

①西原村は半導体関連企業進出の恩恵を受けおり、提案された宿泊施設については、現在村内事業者が建設を計画している。村も支援しており、ビジネス・観光による交流人口の増加や、鳥子未来工業団地の整備と合わせて、村の活性化に繋げていきたい。

②地域と企業との良好な関係構築はたいへん重要なことであり、村では企業連絡協議会を再開して、交流機会を検討している。本年9月には村内企業がイベントを、12月には地域おこし協力隊が「半導体魅力体験イベント」を行うなど、住民の理解促進と地域交流を進めている。

「新しい図書館と西原村の歴史が分かる複合施設の設置について」

質問者 図書委員会 斎藤玲那 議員

「本」という媒体を通して村民が集う場所となるよう「図書館」に西原村の歴史を学べる「歴史資料館」、子どもたちが集まれる「児童館」、カフェや商業施設などを併設した複合施設を設立してはどうか。

答弁

現在、全世帯へ「ごみ収集カレンダー」を配布しているが、村ホームページにも同様の内容（カレンダーや早見表）を掲載し、検索確認ができるようとしている。ホームページには言語変換機能があり、外国籍の方でも探しやすい内容となっているが、今後さらに使いやすく改善していく予定である。また、村の公式LINEには、収集日の前日に通知が届く機能やごみの分類検索機能も提供しており利用していただきたい。

「半導体関連企業との連携による村の活性化について」

質問者 生徒会 桂心美 議員

熊本県（菊池郡）への半導体関連企業の進出に伴い、企業が進出した周辺自治体の活性化がよく報道される。本村も半導体関連企業との連携を進めることで、村の活性化に繋がるのではないかと考え、3点を提案する。

①空港周辺の宿泊施設が少ないため、空港利用者を主な対象とした宿泊施設を誘致すれば、村の活性化に繋がるのではないか。

②半導体関連企業と連携したイベントを開催し、正しい理解や地域住民との交流の場としてははどうか。

③年齢性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が使いやすいUOの考え方は村づくりにおいて大変重要であると認識している。これまで多目的トイレや点字フロックの設置、運動公園にインクルーシブ遊具の設置などを進めてきた。引き続き、外国人も含め誰もが過ごしやすい村づくりを進めていく。

答弁

①西原村は半導体関連企業進出の恩恵を受けおり、提案された宿泊施設については、現在村内事業者が建設を計画している。村も支援しており、ビジネス・観光による交流人口の増加や、鳥子未来工業団地の整備と合わせて、村の活性化に繋げていきたい。

②地域と企業との良好な関係構築はたいへん重要なことであり、村では企業連絡協議会を再開して、交流機会を検討している。本年9月には村内企業がイベントを、12月には地域おこし協力隊が「半導体魅力体験イベント」を行うなど、住民の理解促進と地域交流を進めている。

「新しい図書館と西原村の歴史が分かる複合施設の設置について」

質問者 図書委員会 斎藤玲那 議員

「本」という媒体を通して村民が集う場所となるよう「図書館」に西原村の歴史を学べる「歴史資料館」、子どもたちが集まれる「児童館」、カフェや商業施設などを併設した複合施設を設立してはどうか。

答弁

現在、全世帯へ「ごみ収集カレンダー」を配布しているが、村ホームページにも同様の内容（カレンダーや早見表）を掲載し、検索確認ができるようとしている。ホームページには言語変換機能があり、外国籍の方でも探しやすい内容となっているが、今後さらに使いやすく改善していく予定である。また、村の公式LINEには、収集日の前日に通知が届く機能やごみの分類検索機能も提供しており利用していただきたい。

「半導体関連企業との連携による村の活性化について」

質問者 生徒会 桂心美 議員

熊本県（菊池郡）への半導体関連企業の進出に伴い、企業が進出した周辺自治体の活性化がよく報道される。本村も半導体関連企業との連携を進めることで、村の活性化に繋がるのではないかと考え、3点を提案する。

①空港周辺の宿泊施設が少ないため、空港利用者を主な対象とした宿泊施設を誘致すれば、村の活性化に繋がるのではないか。

②半導体関連企業と連携したイベントを開催し、正しい理解や地域住民との交流の場としてははどうか。

③年齢性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が使いやすいUOの考え方は村づくりにおいて大変重要であると認識している。これまで多目的トイレや点字フロックの設置、運動公園にインクルーシブ遊具の設置などを進めてきた。引き続き、外国人も含め誰もが過ごしやすい村づくりを進めていく。

答弁

①西原村は半導体関連企業進出の恩恵を受けおり、提案された宿泊施設については、現在村内事業者が建設を計画している。村も支援しており、ビジネス・観光による交流人口の増加や、鳥子未来工業団地の整備と合わせて、村の活性化に繋げていきたい。

②地域と企業との良好な関係構築はたいへん重要なことであり、村では企業連絡協議会を再開して、交流機会を検討している。本年9月には村内企業がイベントを、12月には地域おこし協力隊が「半導体魅力体験イベント」を行うなど、住民の理解促進と地域交流を進めている。

「新しい図書館と西原村の歴史が分かる複合施設の設置について」

質問者 図書委員会 斎藤玲那 議員

「本」という媒体を通して村民が集う場所となるよう「図書館」に西原村の歴史を学べる「歴史資料館」、子どもたちが集まれる「児童館」、カフェや商業施設などを併設した複合施設を設立してはどうか。

答弁

現在、全世帯へ「ごみ収集カレンダー」を配布しているが、村ホームページにも同様の内容（カレンダーや早見表）を掲載し、検索確認ができるようとしている。ホームページには言語変換機能があり、外国籍の方でも探しやすい内容となっているが、今後さらに使いやすく改善していく予定である。また、村の公式LINEには、収集日の前日に通知が届く機能やごみの分類検索機能も提供しており利用していただきたい。

「半導体関連企業との連携による村の活性化について」

質問者 生徒会 桂心美 議員

熊本県（菊池郡）への半導体関連企業の進出に伴い、企業が進出した周辺自治体の活性化がよく報道される。本村も半導体関連企業との連携を進めることで、村の活性化に繋がるのではないかと考え、3点を提案する。

①空港周辺の宿泊施設が少ないため、空港利用者を主な対象とした宿泊施設を誘致すれば、村の活性化に繋がるのではないか。

②半導体関連企業と連携したイベントを開催し、正しい理解や地域住民との交流の場としてははどうか。

③年齢性別・障がいの有無などにかかわらず、全ての人が使いやすいUOの考え方は村づくりにおいて大変重要であると認識している。これまで多目的トイレや点字フロックの設置、運動公園にインクルーシブ遊具の設置などを進めてきた。引き続き、外国人も含め誰もが過ごしやすい村づくりを進めていく。

答弁

①西原村は半導体関連企業進出の恩恵を受けおり、提案された宿泊施設については、現在村内事業者が建設を計画している。村も支援しており、ビジネス・観光による交流人口の増加や、鳥子未来工業団地の整備と合わせて、村の活性化に繋げていきたい。

②地域と企業との良好な関係構築はたいへん重要なことであり、村では企業連絡協議会を再開して、交流機会を検討している。本年9月には村内企業がイベントを、12月には地域おこし協力隊が「半導体魅力体験イベント」



また、若い世代への地産地消の取組みとして、学校給食への村産食材の提供を行っている。現在、甘藷生産が好調で新規就農者も増加中である。今後も農業に关心を持つていただきたい。

②村の子ども食堂はNPO法人たんぽぽハウスの運営のもと、県・村産品を使った安価で栄養のある食事が提供されている。また、食事提供だけでなく、子どもたちの居場所提供、交流促進、貧困・孤食対策など多様な役割を担っている。村では、支援のため「子どもの貧困対策推進事業補助金」を今年度から50万円に増額したところである。今後も安定運営を支え、村産品活用促進に努めていく。

③学校給食のメニューの子ども食堂での提供はよいアイデアである。保健衛生課では中学生対象の健診を実施しており、この結果を学校給食や子ども食堂の献立作りに役立てるなど、今後、タイアップの取組みを検討していきたい。